tpc.
TPCマーケティングリサーチ株式会社
〒550-0013　大阪府大阪市西区新町2-4-2　なにわ筋SIAビル8F

TPC 広報室

Communication Magazine

Vol.21
2018.2

TEL 06-6538-5358
FAX 06-6538-6531
HP http://www.tpc-cop.co.jp/
MAIL webmarke@tpc-osaka.com

Index

01　2018年、スタート！
02　日・米・欧3極における糖尿病薬市場の実態とは
03　「ミオえきッチン」が2018年3月に誕生！
04　Photo Library
05　Pick out a TPC report
06　編集後記

2018年、スタート！

新年といえばまずは初詣！ 今年1年がよい年でありますように

ということで、大阪府茨木市にある「茨木神社」へ初詣に行ってきました。

茨木神社は、大同2年（807年）に創建されたと伝えられています。一境内に郷社が二社存在するという全国的にも珍しい神社です。

私たちは1:00頃にお参りへ行ったのですが、沢山の人が来ていて、お参りまではなんと約2時間待ち。しばらく寒い中で順番を待つことになりましたが、何事もなく終えてきました。

何を祈願したかは秘密…ですが、昨年以上に良い年になればいいなと思っております。

また、茨木神社では、1月に関西ならではの「十日戎」も開催されています。

初詣につきものの「おみくじ」！ 気になる結果は…？

さて、神社へ初詣に行くとどうしてもやりたくなってしまうのが、「おみくじ」ですね。元々は「神の意志」を知るための占いのひとつであったそうです。1年の吉凶を占うものとして、お参りの帰り際などに運試しされる方も多いのではないでしょうか。

かくいう私もおみくじが好きなので、引いてきました！結果はなんと大吉！年初めからとても良い引きでした。中吉や小吉でも、まだ上がある＝今後伸びる可能性があるから良い結果だよ、という話を誰かから聞いたことがありますが、それでもやっぱり大吉を引けると嬉しくなりますよね。

皆様の結果はいかがでしたでしょうか。おみくじは未来についてのアドバイスを授けるためのものなので、単純な吉凶だけに囚われないことが重要なのだそうです。また吉凶どちらであっても逆方向に転じることがあるため、用心が必要であるとも言われています。

引いたおみくじは、今年1年を良い年にするための重要な方針として、じっくり目を通して今の自分を見直し、今後に繋げていきましょう！

Column

Medical Pharmaceuticals

日・米・欧3極における糖尿病薬市場の実態とは

国内の患者数だけで約1,000万人？糖尿病とはどんな病気か

日本人にも多くの患者がいる糖尿病ですが、皆さんはどういった病気かご存知でしょうか。糖尿病は、インスリンの作用が十分でないため血糖値やヘモグロビンA1c値が一定の基準を超えている状態のことを言います。よく耳にする症状としては、多尿や口渇、疲労しやすいなどでしょうか。厚生労働省が実施した調査では、国内だけでもなんと約1,000万人が糖尿病患者であると推計されるそうです。発症者は中高年に限らないので、たとえ子供や若年者も安心はできません。

今回はそうした糖尿病の治療に使用する医薬品について、2018年1月9日発刊の「2018年　世界の糖尿病薬市場」を参考に見ていきましょう。

各地域でインスリン製剤の売上が減少 市場全体の規模は？

2016年度の糖尿病薬市場は、3兆7,760億円となりました。前年度比5.6%減となっていますが、これについては各地域でインスリン製剤が伸び悩んだことが要因として挙げられます。ただし、現地通貨では3～4%増と拡大しているようです。

また地域別では、日本市場全体の規模が前年度比3.4%増で増加推移となりました。

DPPⅣ阻害剤は円ベース、ドルベース、及びユーロベースでいずれも拡大！

さて、種類別ではどうなっているでしょうか。

やはり市場規模が最も大きい種類はインスリン製剤となっていますが、バイオシミラーの影響を受けたことで前年度比12.0%減と大幅な縮小がみられますね。

そのほかでは、DPPⅣ阻害剤が日・米・欧3極において円ベース、ドルベース、及びユーロベースでいずれも拡大していました。グラフは下がっているものの、「Januvia群」や「Tradjenta群」の売上が伸びたことで、マーケット構成比では前年度よりわずかに拡大し、25.1%を占めています。

このほか、主要企業15社の商品展開や開発状況なども徹底分析！

他にも多くの情報が掲載されている当レポートですが、弊社オンラインショップ「TPCビブリオテック」では、数ページのみPDFサンプルをご覧いただけます。1週間のご試読も受け付けておりますので、ご興味をお持ちいただけましたら、ぜひ一度ご連絡ください。

参考レポート

2018年1月9日発刊

2018年
世界の糖尿病薬市場
87,000円+税

関連レポート

2016年10月31日発刊

2016年
国内における先発品/GE競合分析調査＜糖尿病＞
87,000円+税

Check!　天王寺ミオが「もっと。毎日寄りたくなるMIOに」をテーマに、過去最大級のリニューアルを実施！

「ミオえきッチン」が2018年3月に誕生！

▲天王寺ミオHP　リニューアルオープン告知ページより
http://www.tennoji-mio.co.jp/newrenew2018_3/

大阪住まいの方には馴染み深い、天王寺駅のすぐ上にある天王寺ミオが、2018年3月に本館・プラザ館合わせて約80のショップを新規・リニューアルオープンします。

なかでも注目すべきは、プラザ館M2F東側に誕生する、駅利用者向けの新たな食のゾーン「ミオえきッチン」。“日常をちょっと彩る、毎日寄り道したい食のゾーン”をコンセプトに、高品質なグローサリー、スイーツ、デリ、お酒などを豊富に揃えた食品ショップになるそうです。さらに新たな“食”を提案するゾーンとして、出来立てをその場で味わうことのできるイートインコーナーが約100席設けられるのだとか。なんとWi-Fiも完備されるそうで、かなり便利なスポットとなる予感がします。

生まれ変わる天王寺ミオ、リニューアルが待ち遠しいですね。

Photo Library

Webマーケが撮影した
今月の1枚をご紹介

今回はとてもオシャレな写真です。これは、近年話題の「フルーツおせち」の写真です。しかもなんと"手作り"！イチゴやメロンをはじめとする美味しそうな果物が綺麗に盛り付けられていて、食べるのが勿体無いと思うほどでした。

「フルーツおせち」は名前の通り、カラフルでフレッシュなカットフルーツを沢山使ったおせちです。使う果物やカットの仕方、盛り付けにその人のこだわりが出るので、見ても食べても楽しむことができますね。

Pick out a TPC report

TPCビブリオテック
http://www.tpc-osaka.com/

Marketing Report

高まりを見せる「本格志向」に対応した商品開発が進む

TPCマーケティングリサーチ(株)調べ

2018年
メニュー用調味料の市場分析調査

発刊日：2017年12月15日／頒価：87,000円（税抜）

当資料では、「惣菜用調味料」「米飯用調味料」「鍋用調味料」「肉用調味料」「パスタソース」などの「メニュー専用調味料」を対象に調査を実施しております。調査内容としては、分野・種類別の市場規模と今後の市場予測、新商品の傾向、参入各社の商品コンセプト、販売動向、広告・販売促進策等をまとめており、今後のメニュー用調味料市場の開拓に向けた商品開発や販売戦略の一助となる資料となっております。

メニュー用調味料は、身近な食材を使って手軽に調理ができることが消費者ニーズを捉え、市場成長を続けています。近年では、単独世帯やシニア世帯の増加等から、高品質な食事をとりたい「本格派」の消費者も増えてきており、各社は「簡便性」だけでなく「本格・高級」にフォーカスした商品を展開することで、更なる消費者層の取り込みを図っています。

Comment by
中野 貴詞
Takashi Nakano
第1マーケティンググループ

編集後記

旧年中は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年も変わらぬご愛顧のほど、宜しくお願い申し上げます。

さて、皆様はお正月にお雑煮を食べましたでしょうか。私はお餅をうっかり余らせて困っていたのですが、永谷園のHPで偶然見つけた「松茸の味お吸いもの」で作るお雑煮を試したところ、とても手軽に美味しく食べることができました。我が家のお雑煮レシピは、とにかく具だくさんで調理にかなり手間がかかるので、こんなに時短できるのか、と思ったことが新年初の驚きとなりました…。

企画・編集 TPCマーケティングリサーチ株式会社
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F
TEL 06-6538-5358
FAX 06-6538-6531
HP http://www.tpc-cop.co.jp/
MAIL webmarke@tpc-osaka.com